

講 義 要 項

科目	継続診断的作業療法学	担当講師	長江 真代・渡邊 泰典・塩澤 智美
対象学年	第3学年	時期・単位数・時間数	前期・講義2単位・60時間
概要	この科目では、作業療法評価に求められる画像診断、予後予測に関する見識を深め、病態理解、エビデンスに基づく目標設定、プログラム立案につなげることを目指す。また、骨折、脳血管障害、内部障害、認知症、精神疾患の主要疾患における各病期での特徴とそこで求められる作業療法介入の考え方を理解する。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. X線/CT/MRIの画像の特性を理解する。 2. 臨床で遭遇する画像を読影し、所見を述べることができる。 3. 画像診断の結果からエビデンスに基づく病態把握、および心身機能の予後予測ができる。 4. ADL遂行状況から活動面の予後予測ができる。 5. 骨折、脳血管障害、内部障害、認知症、精神疾患の各病期で求められる作業療法介入の考え方を理解する。 		
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハに役立つ脳画像 メディカルビュー 2. 身体機能作業療法学 医学書院 3. リハビリテーションビジュアルガイド第2版 学研 		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病気がみえる Vol.7 脳と神経 第2版 メディックメディア 2. 病気がみえる Vol.11 運動器・整形外科 メディックメディア 3. 病気がみえる Vol.2 循環器 第4版 メディックメディア 4. 病気がみえる Vol.4 呼吸器 第2版 メディックメディア <p style="text-align: right;">※その他、必要に応じて適宜資料を配布</p>		
学習評価	筆記試験を100%とし、60%以上の評点にて合格とする。 ただし、平常の学習態度及び出席状況等も考慮し、総合的に評価する。		
備考	<p>国家試験でも出題されているところを中心に学んでいきます。 解剖・生理～臨床医学～評価・治療と1・2年次に学んだ内容を関連づけて再確認していきますので、復習をしっかりとってください。 この科目でしっかり関連付けて理解できるかどうかで 国試勉強の進みが違ってきます。</p> <p>*単元の実施順序は変更することがあります。</p>		

講義内容：

回数	内容	学習法
1	脳血管障害①	講義
2	脳血管障害②	講義
3	脳血管障害③	講義
4	脳血管障害④	講義
5	脳血管障害⑤	講義
6	脳血管障害⑥	講義
7	脳血管障害⑦	講義
8	循環器①	講義
9	循環器②	講義
10	循環器③	講義
11	呼吸器①	講義
12	呼吸器②	講義
13	呼吸器③	講義
14	精神障害①	講義
15	精神障害②	講義
16	精神障害③	講義
17	精神障害④	講義
18	精神障害⑤	講義
19	認知症①	講義
20	認知症②	講義
21	認知症③	講義
22	認知症④	講義
23	認知症⑤	講義
24	骨折①	講義
25	骨折②	講義
26	骨折③	講義
27	骨折④	講義
28	骨折⑤	講義
29	骨折⑥	講義
30	骨折⑦	講義

講 義 要 項

科目	臨床作業療法実習Ⅲ	担当講師	渡邊 泰典・長江 真代
対象学年	第3学年	時期・単位数・時間数	前期・実習8単位・360時間
概要	臨床実習指導者の指導のもとに、対象者の全体像の把握、作業療法計画・治療・指導・援助などを通して作業療法士としての知識と技術・技能および態度を身につけ、保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。		
目標	<p>◎ある程度の助言・指導のもと、基本的な作業療法を実施することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法士を志す学生として、節度ある行動・態度をとることができる。 2. 疑問点を明確にし、それを解決する為の行動をとることができる。 3. 対象となる疾患の病態を理解することができる。 4. 作業療法上必要な、(間接的)情報収集ができる。 5. 対象者の動作を観察し、障害を推測することができる。 6. 3～5より仮説を立て、仮説の検証に必要な評価項目(検査・測定、観察等)を列挙できる。 7. 6の評価項目を適切に実施することができる。 8. 7までに集めた全ての情報を分析・統合・解釈し、問題点を特定・焦点化することができる。 9. 病態の知識および現在の状況、予後予測を加味し、適切な目標(ゴール)設定ができる。 10. 問題を解決するための治療プログラムを立て、その根拠を述べることができる。 11. 実習指導者の指導・監督のもと、作業療法治療、指導を行う事ができる。 12. 最終評価を行う事ができる。(効果判定含む) 13. 3～12までをケースノートに記載することができる。 14. 症例報告要約(レジュメ)にて報告することができる。 		
教科書	上尾中央医療専門学校 作業療法学科 実習要綱		
参考書	適宜配布		
学習評価	プレテストおよび事前セミナー10%、実習評価70%、事後セミナー20%で100%とし、そのうち60%以上で合格とする。 ただし、平常の学習態度及び出席状況等を考慮し総合的に評価する。		
実務経験のある 教員等による 授業	この科目は、学外実習に位置付けられた実践的教育科目である。 臨床現場で働く作業療法士のもと、助言・指導を受け学習を深めていく。		
備考			

講義内容：

回数	内容	学習法
1～22	事前セミナー(プレテスト含む)	演習・実習
23～182	臨床作業療法実習Ⅲ	演習・実習
183～194	事後セミナー	演習・実習